

和歌山市 中心市街地活性化基本計画 (改訂版)



和歌山市 まちづくり推進室 まちおこし推進課

平成17年3月



目 次

目 次	1
はじめに	3
I. 改訂版における中心市街地の考え方	5
A. 旧和歌山市中心市街地活性化基本計画 からの経緯	5
B. 中心市街地の考え方	7
C. 改訂版策定の方針及び過程	8
II. 中心市街地整備改善及び 商業等活性化の推進のための区域	11
A. 基本計画の区域	11
B. 一体的推進のための重点区域	12
III. 中心市街地活性化の 基本テーマ・基本目標・基本方針等	13
A. 基本テーマ	13
「住遊融合 新しい都市核」	13
サブテーマ	13
B. 基本目標	15
「高機能で暮らしやすく、来て楽しい、どこにもない場所の創造」	15
C. 基本方針	15
「自分たちそれぞれに出来るまちづくり」	15
IV. 和歌山市の概況と 中心市街地の現状と課題	16
A. 和歌山市の概況	16
1. 位 置	16
2. 歴 史	17
3. 人 口	19
4. 産業構造	21
5. 和歌山市の土地利用の状況と将来像	27
B. 中心市街地の現状と課題	28
1. 中心市街地を取り巻く産業の現状	28
2. 中心市街地を取り巻く住環境の現状	34
3. その他中心市街地の現状	35
4. 中心市街地の課題	46
5. 総合評価指標	48
C. 上位計画等	49
1. 和歌山市長期総合計画における位置付け	49
2. 和歌山市都市計画マスタープランにおける位置付け	51
3. 和歌山都市計画区域マスタープラン における位置付け	52
4. 他の個別計画等との関連	53
V. 事業の整理	54
A. 中心市街地の将来像	54
B. 和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）事業関連図	56
C. 町衆の心意気！！モダンライフの城下町	57

1. 個店の魅力で人を惹きつけるまち.....	59
2. お気に入りの風景やスポットのあるまち.....	61
3. 長い時間ゆっくりと過ごせるまち.....	63
4. 高齢になっても生き生きと暮らせるまち.....	64
5. 市民とTMOと行政が連携するまちづくりの推進.....	67
D. 施策及び事業.....	69
1. 事業一覧表.....	69
VI. 推進体制の整備.....	106
VII. 資 料.....	108
A. 「和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ」からの提案.....	108
Aグループ「個店の魅力で人を惹きつけるまち」.....	108
Bグループ「お気に入りの風景やスポットのあるまち」.....	113
Cグループ「長い時間ゆっくりと過ごせるまち」.....	117
Dグループ「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」.....	120
B. ワークショップ提案への一般意見募集について.....	125
C. 委 員 等.....	129
D. 用 語.....	134

はじめに

本基本計画に定める中心市街地は、和歌山市を代表する「都市の顔」であるだけでなく和歌山県の顔」でもあり、長い間和歌山城の城下町として栄え、歴史・文化を育み、市民のこころのふるさととも言える地域です。

しかし、最近では、居住人口の減少や高齢化の進展、商店街における空き店舗の増加、郊外への大型店の進出など、中心市街地をとりまく環境は益々厳しくなり、このようなことが今後続けば、地域コミュニティにとっての危機であるばかりではなく、商業、業務機能の中心地として、また、和歌山市の「顔」としての諸機能を失っていくことにもなりかねません。

本市では、平成11年3月に中心市街地活性化基本計画を策定し、その後、中心市街地のまちづくりを担う第3セクター方式のTMOを設立するなど、様々な努力をしてまいりましたが、社会経済状況の変化が予想を上回るスピードで進み、当時計画で想定していた状況を遥かに超えるものとなってしまいました。

今回改訂版として策定されました中心市街地活性化基本計画は、そのような状況を踏まえつつ、地元住民・事業者・市民の方々、TMO、行政が役割分担をしながら活性化を実現していくこととして策定されたものです。計画策定段階から市民参加の手法を取り入れ、前半の公募市民ワークショップと、後半の策定委員会のいずれかに直接的に関わって議論を交わした方々だけでも延べ100人を超えています。

今後は、本基本計画を具体化する段階に移行してまいります。様々な課題を抱えている中心市街地において、地域に関わる人々自らがまちづくりの機運を醸成していくことが何より先肝要であります。地元住民の方々、事業者の方々、市民の方々等が一体となり、また行政もこれを支援し、互いに連携し積極的に活性化に取り組めば、本基本計画に掲げるキャッチフレーズ「町衆の心意気!! モダンライフの城下町」のもと、サブテーマ「個店の魅力で人を惹きつけるまち」「お気に入りの風景やスポットのあるまち」「長い時間ゆっくりと過ごせるまち」「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」など、魅力的なまちが実現できるでしょう。

今を好機ととらえ、市民の皆様とともに、知恵を出して汗を流しながら、まちを創り、育ててまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本基本計画書の策定にあたり、ご尽力を賜りました、市民の方々、策定委員の皆様、関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成17年3月

和歌山市長 大橋 建一



